

各 位

TOTOKU

東京特殊電線株式会社
東京都港区西新橋三丁目 8 番 3 号
(東証1部コード番号 5807)
問合せ先 総務・広報担当
TEL 0268(34)5211

次世代高速インターフェース規格「V-by-One® US」に準拠した フレキシブルフラットケーブル「LEAFCONN H」を開発

東京特殊電線株式会社(本社:東京都港区、社長:鈴木義博)は、ザインエレクトロニクス株式会社(本社:東京都千代田区、社長:高田康裕)(*1)が開発した V-by-One® US (*2)技術仕様に準拠した、高速映像信号伝送用フレキシブルフラットケーブル「LEAFCONN H」(リーフコン イチ)を開発しました。

当社は、「TOTOKU」ブランドにより、テレビ用等の配線材として各種映像伝送ケーブル、並びに狭ピッチ配線が可能で 2K・4K 映像信号等の伝送性能に優れたフレキシブルフラットケーブル「LEAFCONN」の量産を行ってまいりましたが、8K 映像信号の伝送が可能なフレキシブルフラットケーブルの開発を進め、V-by-One® US 技術仕様に準拠した「LEAFCONN H」の開発に成功しました。

ザインエレクトロニクス株式会社が技術仕様を策定した V-by-One® US 規格は、8K 映像の伝送を目標とし、1 レーン当たり最高 16Gbps(1 秒当たり 160 億ビット)の高速伝送速度が規定されています。

当社開発品は、2018 年度上期でのサンプル品の出荷を予定しています。

2020 年東京オリンピック、2022 年北京での冬季オリンピックを控え、8K 映像技術の需要は急速に高まることが予測されており、「LEAFCONN H」をタイムリーに提供することでお客様のご要望にお応えしてまいります。

【当開発品の特長】

- (1)信号の劣化が僅かなため、高性能な伝送が可能。
長尺での信号伝送に優れるため、機器内の離れた基板間の信号伝送が可能で、大型テレビ等の内部配線に最適です。
- (2)導体の狭ピッチ配列により、コネクタの小型化が可能。
基板接続用のプラグやレセプタクルが小型化できます。
- (3)薄型で折り曲げが可能なため、狭スペース配線が可能。
ケーブルが薄型で自由に折り曲げができるため、機器内のスペースに合わせた配線が可能です。



【当社開発品】 LEAFCONN H

*1 高速インターフェースや画像処理分野で世界をリードするミックスドシグナル LSI 企業。

*2 ザインエレクトロニクス株式会社が技術仕様を策定した4K、8K映像向け次世代高速インターフェース規格で、4Kテレビのデファクト・スタンダード(事実上の世界標準)として用いられている V-by-One® HS に続くインターフェース規格。

「TOTOKU」、「LEAFCONN」は、東京特殊電線株式会社の登録商標です。

「V-by-One」は、ザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

以上

本資料についてのお問合せ先	総務・広報担当	TEL 0268(34)5211
お客様からの製品に関するお問合せ先	デバイス営業グループ	TEL 03(5860)2129